

昭和21年7月10日第3種郵便物認可

# 全日本体操 平行棒 田辺工業高出身で初 柴田選手が5位



柴田快輝選手

田辺工業高校出身で順天堂大学4年の柴田快輝選手(21)が、千葉市で5、6日に開かれた全日本体操種目別選手権大会(日本体操協会主催)の平行棒で5位に入賞した。年齢制限のない全日本の大会で、同校出身者が入賞したのは初めて。

ゆか▽あん馬▽つり輪▽跳

馬▽平行棒▽鉄棒の6種目。5月にあった全日本個人総合選手権と種目別トライアルに出場した選手のうち、種目ごとの上位24人が今大会に出場した。

柴田選手は5日の平行棒予選でE難度やD難度の技を決め、着地もわずかな動きでまとめた。得点は15・150を

記録し、上位8人による6日の決勝に進んだ。予選1位は和歌山市出身の田中佑典選手(コナミ)で15・450、2位は日本代表として今年の世界選手権に出場する野々村笙

吾選手(順大)で15・300。決勝でも柴田選手は難易度の高い技を決めたが、演技冒頭でのミスが響き、14・450と得点を落としたり。優勝は野々村選手だった。

柴田選手は「力を入れて練習してきた平行棒で決勝に進み、入賞できたのでうれしい。ただ、決勝で失敗してしまっただ部分もあるので、次の大会に向けて技を磨きたい」と話している。あん馬にも出場したが、20位(12・600)で予選落ちした。

今回の選手権には、田辺工業高出身で早稲田大学4年の嶋津尚弥選手(21)も、あん馬とつり輪に出場。あん馬は18位(13・000)、つり輪は14位(14・100)で、いずれも予選落ちだった。